

# ありがとうファンド

(愛称:『ファンドの宝石箱』)

◆ 当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／資産複合 いつでも購入できて、日本や外国の資産に投資することができる投資信託です。
信託期間	無期限
運用方針	投資家の方々の長期的な資産形成のお手伝いをさせていただくことを目的とし、複数のファンドに分散投資することを基本とします。 運用方針としては、経済の変動のダイナミズムを先取りしたアセットアロケーションを前提にファンドの組成に取り組む方針を一貫して行います。
主要運用対象	主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限は設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③同一銘柄の投資信託証券への投資は、原則として信託財産の純資産総額の 50% 未満とします。
分配方針	毎決算時に、収益分配方針に基づいて分配を行います。分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案し決定します。(分配を行わないこともあります。) 分配金は税引後自動的に全額再投資されます。

※当ファンドは課税上、株式投資信託として取り扱われます。

## 第 10 期 運用報告書

(決算日 2014 年 9 月 1 日)

### ●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。  
さて、皆様の「ありがとうファンド」は、平成 26 年 9 月 1 日に第 10 期の決算を行いました。ここに謹んで運用状況をご報告申し上げます。

税理士・公認会計士が立ち上げた資産運用会社

 **ありがとう投信**  
Arigato Asset Management Inc.

東京都台東区上野 3 丁目 19 番 4 号 サカイビル  
<http://www.39asset.co.jp>

### ◆お問合せ先

TEL. **0800-888-3900**(フリーCall: 携帯電話は除く)  
または **03-5807-9710**

受付時間8:30~17:30 (土日祝日を除く)

## ◆ 運用チームからお客様へ

### 岡 大

代表取締役 CIO (最高投資責任者)

---

このたび、皆さまのありがとうファンドは、おかげさまで第 10 期の決算を迎えました。これまでの 10 年間は、金融危機や東日本大震災など大きな変動に見舞われ、皆さまにもご心配・ご迷惑をおかけすることが多く、本当に申し訳ありませんでした。それにもかかわらず、とても多くの方々が、ずっと長期投資をご一緒し続けてくださいました。良い運用の継続は良いお客さまがあってこそトライできるのだと、あらためて強く感じました。皆さまには、本当に心から御礼を申し上げます。

さて、昨年、第 9 期の運用報告書で、「次の第 10 期の終わりには『この先何十年も続けていける長期投資の確固たる礎ができました！』と胸を張って皆さまにご報告できますよう、流れに棹さして中間スパートをかけるつもり」と申しあげました。今期の成績は、その言葉に違わぬものにできたでしょうか。

皆さまには、この運用報告書をお読みいただいてご判断いただきたいと思いますが、私たちとしては、長期投資の礎といえるものが出来つつあるのではないかと、少し手応えを感じています。2014 年 3 月期で会社が黒字化したこと、基準価額の水準、そして何よりお客さまの質の高さ、そういった形で、皆さまとともにじっくりと長期投資を実践していくための下地が、ここに確かに整ってきています。

今、はじまりの 10 年が過ぎて新しい 10 年がスタートするにあたり、私たちは気持ちを新たに、今後のさらなる飛躍を誓い合っています。今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### 川元 由喜子

投信企画運用部 ファンドマネージャー

---

昨年から今年にかけては、これまでになかったような地域紛争が、いくつも起きているのが気になります。その一方で世界の金融市場は、欧州債務危機時の緊張感をすっかり忘れてしまったかのように平穏で、日本株の居場所も大きくは変わりませんでした。

国内の経済は増税という大事件をこなし、少々足元が定まらないようですが、不安を催すほどでもありません。高度成長期のように、皆が一斉に消費し始めるというようなことは、日本ではもうないのかもしれませんが、元気な人をどれだけ増やせるかが大切なのでしょう。

そんな中で最近気になっているのは、昨年から顕著に増えている訪日客。急速に豊かになったアジアの国々から観光を楽しみに来る人々です。国内の高齢化ばかりに目が向きがちですが、こうしたことも、経済に案外大きな変化をもたらすのではないのでしょうか。

市場が平穏な時こそ、経済のダイナミックな変化について、じっくり考える良い機会です。変化の兆しを、いつも柔軟に見究めていきたいと思っています。これからもよろしく申し上げます。

◆	<b>設定以来の運用実績</b> ..... P.4 設定以来の基準価額、分配金、期中騰落率、純資産総額を決算期ごとに掲載しています。 期中騰落率とは、基準価額が各期どれだけ値上り（値下がり）したかを意味します。	P.4
◆	<b>当期中の基準価額等の推移</b> ..... P.4 当期中の基準価額、組入れファンド全体への投資比率の推移をご覧ください。	P.4
◆	<b>当期中の運用概況と今後の運用方針</b> ..... P.5 信託財産の運用状況をファンドマネージャーが説明します。 <ul style="list-style-type: none"> <li>● 基準価額の推移</li> <li>● 当期の金融市場の動向</li> <li>● 当期の運用状況</li> <li>● 分配金のお知らせ</li> <li>● 今後の運用方針</li> </ul>	P.5
◆	<b>直接販売状況</b> ..... P.9 運用会社が直接お客様に販売しているありがとうファンド。 今期の販売状況をカスタマーサービス部よりご説明します。	P.9
◆	<b>1万口当りの費用の明細</b> ..... P.10 信託財産から支払われた信託報酬等が記載されています。	P.10
◆	<b>当期中の売買および取引の状況</b> ..... P.10 当期中に売買された銘柄について、銘柄別に口数や金額などが記載されています。	P.10

◆ 利害関係人との取引状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.10
◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況	・・・・	P.10
◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.10
◆ 組入資産の明細	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.11
	決算日時点の組入資産の状況が記載されています。	
◆ 投資信託財産の構成	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.11
	信託財産の財産総額における構成状況を記載しています。	
◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	信託財産全体の資産・負債の状況などが記載されています。 企業という貸借対照表のようなものです。	
◆ 損益の状況	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	期中に計上したファンドの収益と損失を掲載しています。 企業という損益計算書のようなものです。	
◆ 当期の分配金	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
◆ お知らせ	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.12
	当期中に発生した約款変更について掲載しています。	
◆ 指定投資信託証券の運用内容	・・・・・・・・・・・・・・・・	P.13
	信託財産に組み入れられた投資信託受益証券及び投資証券の運用状況を参考資料として掲載。	

◆ 設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率	純資産総額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率			
(設定日) 2004年9月1日	円 10,000	円 —	% —	% —	% —	百万円 161
1期 (2005年8月31日)	10,705	0	7.1	76.0	—	813
2期 (2006年8月31日)	12,526	0	17.0	79.4	—	3,255
3期 (2007年8月31日)	12,681	0	1.2	89.3	—	6,857
4期 (2008年9月1日)	10,075	0	△20.6	92.0	—	6,847
5期 (2009年8月31日)	8,878	0	△11.9	81.9	—	7,075
6期 (2010年8月31日)	8,014	0	△9.7	84.3	—	6,850
7期 (2011年8月31日)	7,940	0	△0.9	86.1	—	7,105
8期 (2012年8月31日)	8,146	0	2.6	83.1	7.6	7,681
9期 (2013年9月2日)	11,647	0	43.0	82.2	9.8	10,261
10期 (2014年9月1日)	13,818	0	18.6	82.7	12.0	10,825

注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は前期比。組入比率は対純資産比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の基準価額等の推移

年月日	基 準 価 額	騰 落 率	投資信託 受益証券 組入比率	投資証券 組入比率
(期首) 2013年9月2日	円 11,647	% —	% 82.2	% 9.8
9月末	12,556	7.8	83.9	9.4
10月末	12,632	8.5	84.3	9.8
11月末	13,063	12.2	86.0	10.2
12月末	13,413	15.2	84.7	11.2
2014年1月末	12,875	10.5	85.3	11.2
2月末	13,023	11.8	85.3	11.3
3月末	12,984	11.5	85.2	11.7
4月末	12,863	10.4	81.9	11.8
5月末	13,216	13.5	82.0	11.7
6月末	13,546	16.3	82.1	11.6
7月末	13,827	18.7	82.8	11.7
8月末	13,858	19.0	82.7	11.9
(期末) 2014年9月1日	13,818	18.6	82.7	12.0

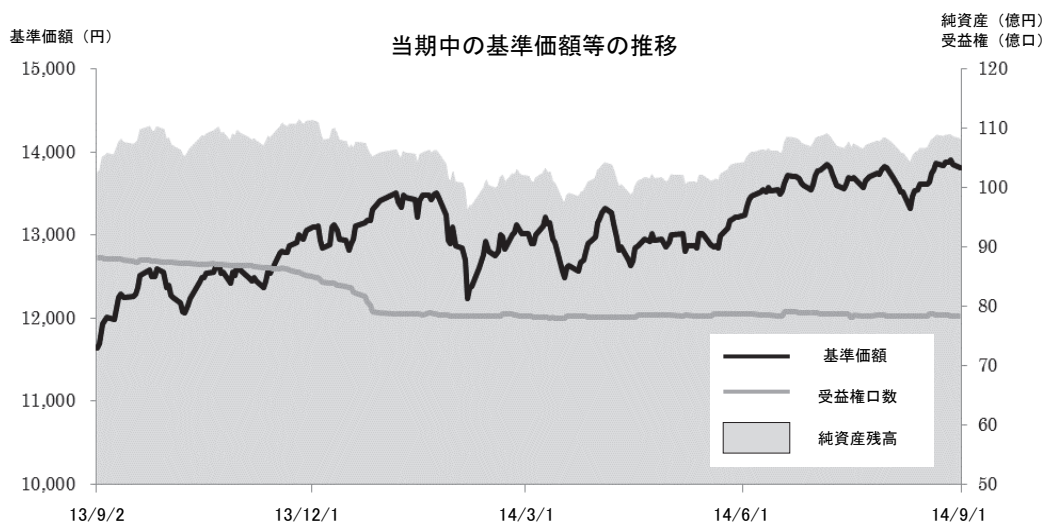
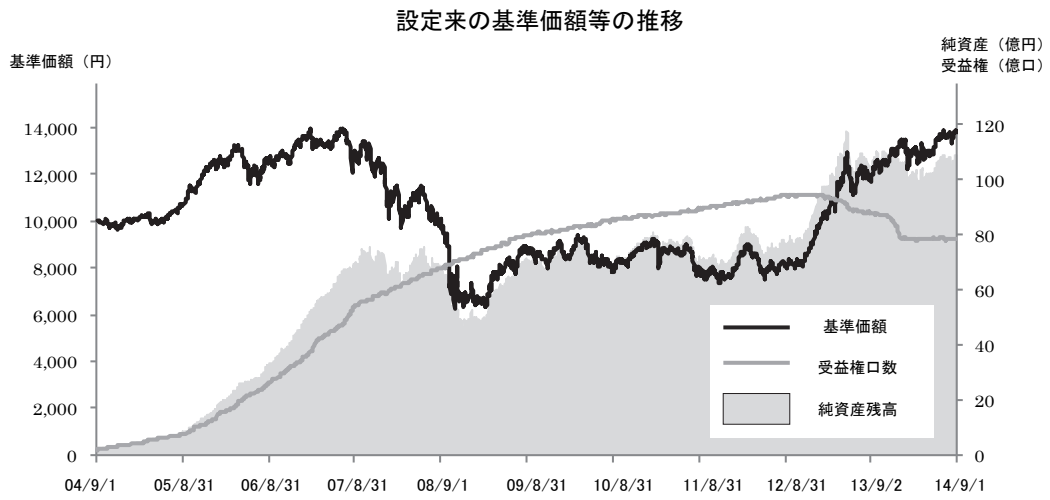
注1) 基準価額は1万口当り。騰落率は期首比。組入比率は対純資産比。

注2) 当ファンドの運用方針に適切なベンチマーク(参考指数)が存在しないため、上表には市況を併記してありません。

注3) 期中騰落率、組入比率は小数第二位を四捨五入。

◆ 当期中の運用概況と今後の運用方針

● 基準価額の推移

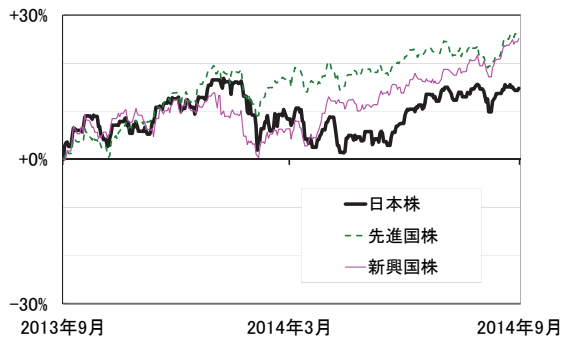


基準価額は期首 11,647 円から期末は 13,818 円となり 2,171 円の値上がり (18.6%の上昇) となりました。

期首	期中高値	期中安値	期末
2013年9月2日	2014年8月28日	2013年9月3日	2014年9月1日
11,647 円	13,900 円	11,700 円	13,818 円

● 当期の金融市場の動向

この1年の株式市場は、およそ右のチャート(日本株=TOPIX、先進国株=MSCI WI<円換算>、新興国株=MSCI EM<円換算>を、前期末からの変化率で表示)のように推移しました。



今期の市場は、一年を通して非常に狭いレンジでのみみ合いでした。目盛りが自動設定される右のチャート、去年は縦軸が-30%~+90%になっていました。今季も同じ軸で表示すると、全く同じような動きでほぼ横ばいになってしまいそうです。

この1年は、東アジアをはじめとして、ウクライナ、イラク、シリアなど、世界的に地政学的リスクが高まりました。また、日本では消費税引き上げが行われたこともあり、相場環境としては総じてあまり良いとは言えない状況でしたが、不思議なほど小さな値動きに終始しました。

なお、右上のチャートでは海外株が日本株を少し引き離しているようですが、これには為替の円安効果も含んでいることと、上で述べたようにグラフの見栄えの影響が大きいため、見た目ほどの差はありません。

● 当期の運用状況

上記のような投資環境の下、この1年間のありがとうファンドの運用成績は、基準価額で2171円、率にして18.6%のプラスという結果になりました。対応する期間の、各組入れファンドの運用成績は右表の通りです。

ファンド名	13/09/02	14/09/01	騰落率
ありがとう	11,647	13,818	+18.6%

組み入れている各ファンドについて、今期のありがとうファンドの基準価額の騰落に対する寄与度を表したのが、下のグラフです。

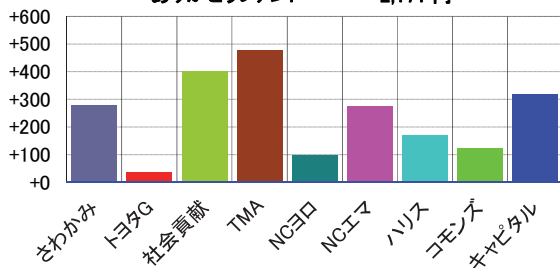
ファンド名	13/08/30	14/08/29	騰落率
さわかみ	14,954	18,185	+21.6%
トヨタグループ	16,748	17,663	+5.5%
社会貢献	12,058	14,913	+23.7%
TMA長期投資	11,478	14,541	+26.7%
NCヨーロッパ	13,353	15,251	+14.2%
NCエマージング	10,883	14,335	+31.7%
Alamco/ハリス*	11,166	11,900	+6.6%
コモنز30	13,361	15,509	+16.1%
キャピタル	2,112	2,735	+29.5%

当期の組入れファンドの売買状況ですが、2013年12月にさわかみ、トヨタグループ株、社会貢献、TMA長期投資、コモنز30の5本のファンドを、さらに2014年4月にコモنز30を、それぞれ一部売却しており、期中の買いはありません。

\*Alamco/ハリスは期中に分配金が出ており(再投資)、分配金込みでは+19.3%

■ 組入れ各ファンドの寄与度(円)

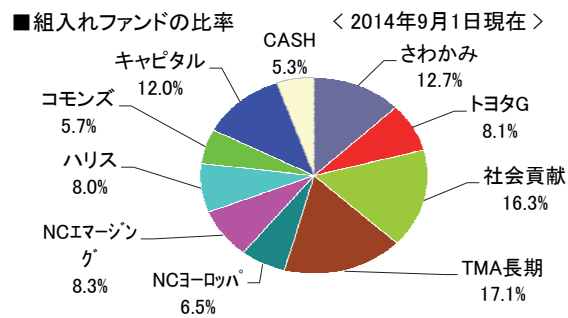
ありがとうファンド = +2,171円



左のグラフは、今期のありがとうファンドの基準価額の騰落について、組入れている各ファンドがおおよそどれくらい影響したかを表したものです。ありがとうファンドへの組入れ比率が高いほどプラスもマイナスも大きく影響しますから、この大小がそのファンドの成績の良し悪しをそのまま表しているわけではありません。

2013年12月は、譲渡益課税率の変更に伴い利益を確定する売りが多く出たことで保有する現金比率が大きく下がったことに対応し、ありがとうファンド内での比率が大きいファンドを少しずつ一部売却。2014年4月は、地政学的リスクの一段の高まりに対してキャッシュポジションの比率を少し上げて、相場変動のリスクに備えました。

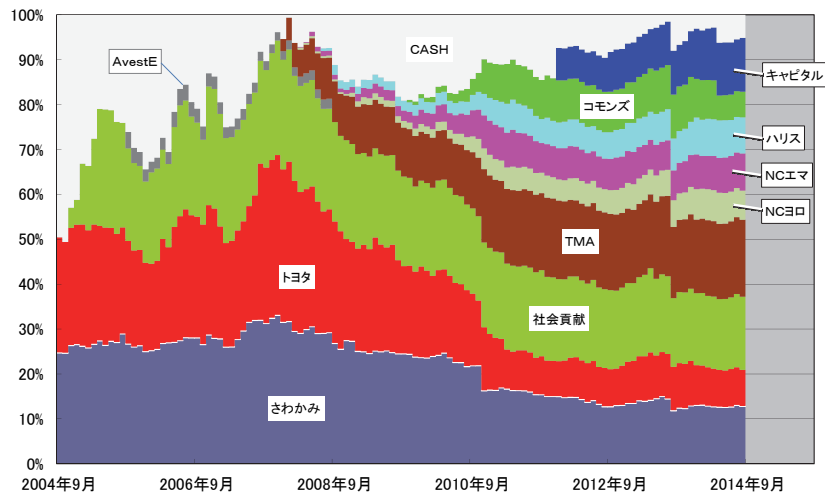
以上の投資行動により、期末時点の純資産総額に対する各ファンドの組入比率は右上の円グラフのようになっています。



右のグラフは、組入れファンドの比率の推移を、ありがとうファンド設定のときから直近まで時系列にならべて表示したものです。

ありがとうファンドの基準価額の推移をみると、前の第9期には43.0%も上昇しましたから、それと比べると今期は地味な感じもありますが、第10期は、一度も前期末の基準価額を下回っていないというのが、非常に特徴的な動きだったと思います。私たちが心がけている『下げに強い』運用の一端ですね。日本株の動きが重くなった局面では、円安もあって海外株が堅調で

■ 組入れファンド比率の推移



あったりして、相互にうまく補完する動きとなりました。ありがとうファンドの組入れファンドの構成、資産配分によって分散投資がうまく効いていたと言えそうです。

もう一つ、今期の運用行動の特徴は、組入れファンドとの対話をこれまで以上に強く意識したことです。具体的には、組入れファンドの運用に疑問を感じた際に、当該ファンドの価値を高めると私たちが考える内容を運用担当者に提案、協議しました。今、「スチュワードシップコード」のもとで、運用機関が企業に対して、その企業価値を高めるように経営に働きかけることを意識し始めたのと同じような行動です。このように、単なる売買だけではない意思表示も活用することで、ありがとうファンドの価値向上をはかりながら、ひいては日本の投資信託市場全体の価値を高めていくことにも資するものと考えています。

● 分配金のお知らせ

ありがとうファンドの今期末の分配金につきましては、市況動向等の諸々の状況を勘案し、前期に引き続き無分配とさせていただきます。



● 今後の運用方針

ありがとうファンドに組み入れている各ファンドの、資産種類ごとのポジションを集計したものが右のグラフです。また、その下のグラフは、設定来のその推移を表したものです。

さて、今後の運用方針ですが、私たちはこのところずっと同じようなことを言い続けています。『日本株：海外株=2：1程

度を念頭に、現金比率をコントロールしながら緩やかにポジションを調整します』…現状では、やはりこの方針に変更なしです。

「もっと頻繁に、機敏に、ポジションをどんどん動かした方が良いのでは？」そんなご質問をいただくこともあります。けれども、もっと機敏にというのは「もっと相場を見て、それに応じて上手く動け」という意味かと思いますが、『相場を見て動く』ことなんて、それを何十年もずっと『上手く』やり続けられる確率は、誰がやってもゼロに近い話なのです。

私たちが、皆さまの大切なお金をそんな確率の低いバクチに投入するなど、あり得ないことです。『勝率の高さ』こそが長期投資の強みであり、私たちはその実現に向けて頑張っているのですから。

なお、一点だけ補足しますと、米国の金融緩和の縮小（テーパリング）もあって新興国市場は当面リスクが高くなると私たちは見ていましたが、今のところ、逆に新興国株がやや強い状況になっています。それでも、ありがとうファンドの組入れファンドが買っている先進国企業の多くが新興国でもビジネスを成功させていることなどから、あえて新興国株そのもののウェイトを大きく上げる必要はないという考え方にも変更はありません。

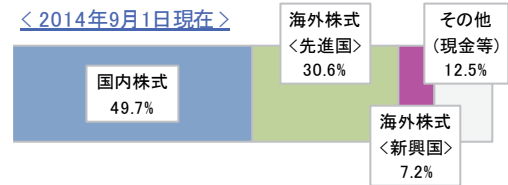
いつも申し上げている通り、私たちが目指しているのは、適宜の売買による益出しや買い直しの必要がないことはもちろん、他のファンドとの組み合わせ等による資産配分の調整も不要で、ありがとうファンドだけをただ持ち続けていることが、結果として一番理に適っていると言えるような『安心して長期保有できるファンド』です。

これを実現すること、つまり、本格的な長期投資の成功モデルを皆さまと一緒に作り上げることが、私たちの大きな目標なのです。

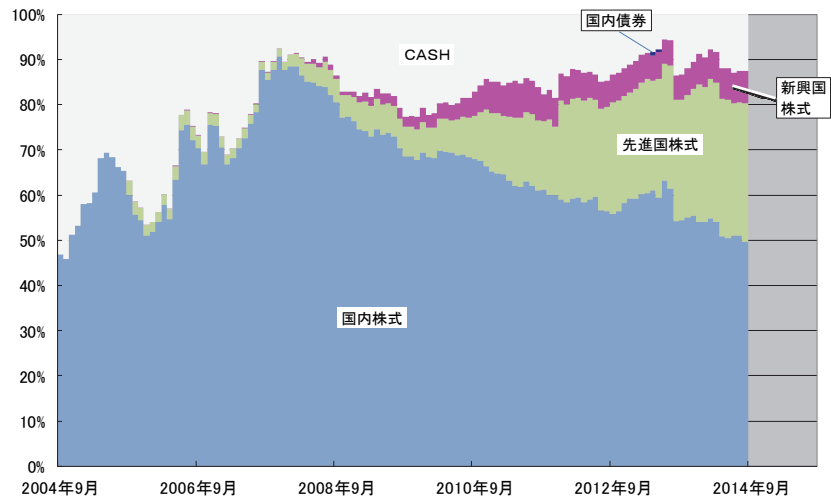
どうか今後とも末永く長期投資をご一緒くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

■各ファンドの合計の資産配分状況

<2014年9月1日現在>



■各ファンドの合計の資産配分状況の推移



● **直接販売状況**

2014年9月1日決算日現在 有効口座数(※) 5,127 口座 ※決算日現在残高のないお客様も含まれます。

当期末現在で口座数が 5,127 口座(内法人 28 口座)となりました。一人当たりの平均保有残高は 2,111,419 円です。当期間の新規口座開設件数は 447 口座でした。前期に引き続き、「本・新聞等を見て」や「家族・知人の紹介」を口座開設のきっかけとされる方が多くを占めております。一方、一定期間取引の無いお客様の口座閉鎖手続やファンドの売却と共に口座閉鎖手続きをされたことによる口座数減少は 974 口座となりました。

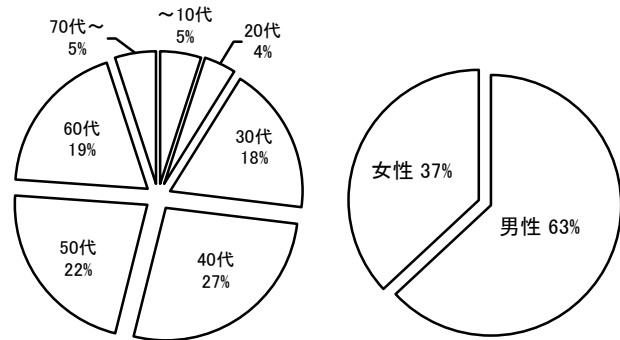
● **お客様の特徴**

年代別では、40代のお客様が 27.4%と最も多く、40代から 60代のお客様が全体の約 68%となっております。

● **ファンド設定・解約の状況**

第 10 期においては、設定金額が 856,636,532 円、解約金額が 2,126,480,854 円となり、金額ベースで純流出となりました。主な要因としては、2013 年末の証券優遇税制終了に伴い、保有利益が出ているお客様からの利益確定の売却が上げられます。

一方で、ありがとうファンドの純資産額は組入ファンドの時価評価拡大が貢献し、期中平均 105.4 億円とファンド運用スタート以来最大となりました。

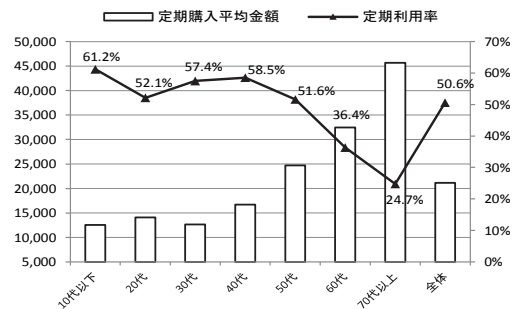


● **定期定額購入サービス**

当サービスをご利用されているお客様の割合は 50.6% (分母：有効口座数)。一人当たりの定期購入金額平均は 21,129 円でした。

相場の変動に踊らされないためにも、時間分散による継続投資を、お客様の年齢問わず推奨しております。

インフレから資産を守る観点からも、長期継続投資は重要だと考えております。お客様のお好きなタイミングで購入する「スポット購入」と合わせ、「定期定額購入」サービスをどうぞ活用ください。



● **運用状況を随時お伝えしております。**

毎月上旬発行の月次レポート以外にも、C I O が直接お客様とお会いしてファンドの運用状況をお伝えるセミナーと合わせ、ホームページ上では、動画による四半期運用報告を公開しております。引き続き、ファンドの運用状況を C I O より皆様にお伝えする場を積極的に用意して参ります。

◆ 1万口当りの費用の明細 (自2013年9月3日 至2014年9月1日)

項目	当期
(a) 信託報酬	124円
(投信会社)	(61)
(販売会社)	(50)
(受託銀行)	(14)
(b) 保管費用等	0
合計	124

注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。  
 (a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率  
 (b) 保管費用等は目論見書等の法定資料作成交付にかかる費用および監査費用などです。

注2) 各項目毎に円未満四捨五入のため、単純合計と表示が異なる場合があります。

◆ 当期中の売買および取引の状況

[投資信託受益証券] (自2013年9月3日 至2014年9月1日)

	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
		千口	千円	千口	千円
国内	コモンズ30ファンド	—	—	352,095	500,000
	トヨタグループ株式ファンドF	—	—	100,000	181,420
	TMA長期投資ファンド	—	—	141,198	180,000
	社会貢献ファンド	—	—	120,000	164,412
	さわかみファンド	—	—	59,591	100,000
	合計	—	—	772,885	1,125,832

注1) 金額は受け渡し代金です。  
 注2) 単位未満は切り捨てです。

◆ 利害関係人との取引状況 (自2013年9月3日 至2014年9月1日)

期中における当ファンドにかかる利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 第二種金融商品取引業を兼業している投資信託委託会社の自己取引状況

当期における自己取引はありません。

◆ 自社による当ファンドの設定・解約状況

(自2013年9月3日 至2014年9月1日)

期首残高 (元本)	当期設定 元本	当期解約 元本	期末残高 (元本)	取引の理由
千円 70,000	千円 0	千円 70,000	千円 0	自社財産の運用を目的とした取得等(設定時から保有していた全額を解約)

◆ 組入資産の明細

ファンド・オブ・ファンズが組み入れた投資対象ファンドの明細

[投資信託受益証券]

ファンド名	期首(前期末)	当期末(2014年9月1日現在)			
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	比率	
	千口	千口	千円	%	
TMA長期投資ファンド	1,416,049	1,274,851	1,853,760	17.1	
社会貢献ファンド	1,301,542	1,181,542	1,762,034	16.3	
さわかみファンド	817,591	758,000	1,378,424	12.7	
NC・エマージングマーケット・ファンドSA	623,389	623,389	893,628	8.3	
トヨタグループ株式ファンドF	593,960	493,960	872,482	8.1	
ALAMCOハリスグローバルバリュー株ファンド2007	653,522	731,290	870,235	8.0	
NC・ヨーロッパ・ファンドSA	460,662	460,662	702,556	6.5	
コモンズ30ファンド	750,494	398,398	617,876	5.7	
合計	口数・金額	6,617,214	5,922,095	8,950,999	82.7
	銘柄数	8	8		

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2) 単位未満は切り捨 (注3) NC=ニッポンコムジェスト

[投資証券]

ファンド名	期首(前期末)	当期末(2014年9月1日現在)			
	単位数又は口数	単位数又は口数	評価額	比率	
(ルクセンブルグ) キャピタル・インターナショナル・USグロース アンドインカム・ファンド クラスX	千口 474	千口 474	千円 1,297,800	% 12.0	
合計	口数・金額	474	474	1,297,800	12.0
	銘柄数	1	1		

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の比率。比率は四捨五入。(注2) 単位未満は切り捨

◆ 投資信託財産の構成

項目	当期末 (2014年9月1日現在)	
	評価額	比率
	千円	%
投資信託受益証券	8,950,999	82.3
投資証券	1,297,800	11.9
コール・ローン等、その他	632,703	5.8
投資信託財産総額	10,881,503	100.0

注1) 金額の単位未満は切り捨てです。そのため、単純合計と表示が異なる場合があります。

注2) 比率は四捨五入してあります。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項目	当期末 (2014年9月1日現在)
(A) 資産	10,881,503,165 円
コール・ローン等	632,703,907
投資信託受益証券(評価額)	8,950,999,038
投資証券(評価額)	1,297,800,220
(B) 負債	56,258,093
未払解約金	5,879,695
未払信託報酬	50,378,398
(C) 純資産総額(A-B)	10,825,245,072
元本	7,833,878,640
次期繰越損益金	2,991,366,432
(D) 受益権総口数	7,833,878,640 口
1万口当り基準価額(C/D)	13,818 円

注1) 期首元本額 8,810,277,400円  
 期中追加設定元本額 655,017,446円  
 期中一部解約元本額 1,631,416,206円

注2) 運用報告書作成日時時点では、監査未了です。

注3) 計算期間の末日現在1口当たり純資産の額 1.3818円

◆ 損益の状況 (自2013年9月3日 至2014年9月1日)

項目	当期末
(A) 配当等収益	89,565,191 円
受取配当金	89,423,022
受取利息	142,169
(B) 有価証券売買損益	1,623,362,347
売買益	1,837,461,439
売買損	△214,099,092
(C) 信託報酬等	△100,544,159
(D) 当期損益金(A+B+C)	1,612,383,379
(E) 前期繰越損益金	800,067,007
(F) 追加信託差損益金	578,916,046
(配当等相当額)	(958,808,235)
(売買損益相当額)	(△379,892,189)
(G) 計(D+E+F)	2,991,366,432
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G+H)	2,991,366,432
追加信託差損益金	578,916,046
(配当等相当額)	(958,808,235)
(売買損益相当額)	(△379,892,189)
分配準備積立金	2,412,450,386

注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◆ 当期の分配金 (単位: 円、1万口当たり・税引前)

	当期
当期分配金	-円
当期の収益	-
当期の収益以外	-
翌期繰越分配対象額	4,303

(注) 当期の収益および当期の収益以外は、小数点以下を切捨てて表示しているため、合計した額が当期の分配金と一致しない場合があります。

◆ お知らせ《当期中の約款の変更》

当期における約款変更はございません。

《復興特別所得税のお知らせ》

2014年1月1日から普通分配金並びに解約時または償還時の差益に対し、所得税15%に2.1%の率を乗じた復興特別所得税が附加され、20.315% (所得税及び復興特別所得税 15.315%、並びに住民税 5% (法人受益者は 15.315%の源泉徴収が行われます。)) の税率が適用されます。

## ◆ 指定投資信託証券の運用内容

『ありがとうファンド』は、主として国内外の株式等を投資対象とする投資信託証券を投資対象とします。運用にあたっては、景気変動のサイクルに沿った、アセットアロケーションの切り替えを大前提とします。厳しい基準に基づいて選択されたファンドを活用し、景気サイクルのダイナミズムを先取りする形で、資産配分を行っていきます。運用成果については、特定のベンチマークを設けることはしません。短期的な市場変動に惑わされることなく、長期的な資産の成長を目指して運用を行います。

組入れファンドの選択に当っては、ファンドの運用方針が明確で、一貫性があることを重視し、ファンド・オブ・ファンズのパフォーマンスへの寄与を明確にします。選択の基準としては、運用資金が安定的に推移し、顧客から継続して支持を受けていることも重要な条件とします。組入れファンドの運用内容のチェックとして、基準価額の推移が運用方針と整合性を持っているかどうか重要な判断基準とします。

以降、各ファンドの直近の決算状況を各ファンドからのデータ提供をもとに掲載しております。

## 1 《さわかみファンド》

第15期（決算日：2014年8月25日）計算期間：2013年8月24日～2014年8月25日



### ■ 1万口（元本10,000円）当たりの費用明細

自2013年8月24日 至2014年8月25日

項目	金額
(a) 信託報酬	183 円
（投信会社）	（ 101 ）
（販売会社）	（ 64 ）
（受託銀行）	（ 18 ）
(b) 売買委託手数料	1
（株式会社）	（ 1 ）
合計	184

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料は、期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

### ■ 組入資産の明細（上位10銘柄）

2014年8月25日現在

順位	銘柄コード	銘柄名	業種名	組入比率(%)
1	7203	トヨタ自動車	輸送用機器	5.13
2	5108	ブリヂストン	ゴム製品	4.43
3	1605	国際石油開発帝石	鉱業	3.08
4	4452	花王	化学	3.02
5	5334	日本特殊陶業	ガラス・土石製品	2.95
6	7011	三菱重工業	機械	2.72
7	6367	ダイキン工業	機械	2.70
8	6902	デンソー	輸送用機器	2.47
9	6594	日本電産	電気機器	2.45
10	6752	パナソニック	電気機器	2.08

※比率は8月25日現在における純資産総額比です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年8月25日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	300,223,467,587円
コーポレートローン等	12,582,698,641
株式(評価額)	287,180,525,200
未収入金	70,088,534
未収配当金	390,155,212
(B) 負 債	1,206,663,380
未払解約金	387,696,465
未払信託報酬	818,966,915
(C) 純資産総額(A-B)	299,016,804,207
元 本	162,508,949,073
次期繰越損益金	136,507,855,134
(D) 受益権総口数	162,508,949,073口
1万口当たり基準価額(C/D)	18,400円

注1) 期首元本額 190,708,903,640円  
 期中追加設定元本額 9,511,766,549円  
 期中一部解約元本額 37,711,721,116円

注2) 運用報告書作成日時点では、監査未了です。

注3) 計算期間の末日における1口当たり純資産の額は1.84円です。

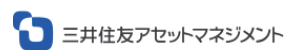
■損益の状況

自2013年8月24日 至2014年8月25日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,717,262,891 円
受取配当金	4,710,790,785
受取利息	1,890,009
その他収益金	4,582,097
(B) 有価証券売買損益	45,536,246,646
売買益	53,313,715,039
売買損	△7,777,468,393
(C) 信託報酬等	△3,137,084,684
(D) 当期損益金(A+B+C)	47,116,424,853
(E) 前期繰越損益金	29,019,362,913
(F) 追加信託差損益金	60,372,067,368
(配当等相当額)	(101,916,715,797)
(売買損益相当額)	(△41,544,648,429)
(G) 合計(D+E+F)	136,507,855,134
(H) 収益分配金	-
次期繰越損益金(G+H)	136,507,855,134
追加信託差損益金	60,372,067,368
(配当等相当額)	(101,916,715,797)
(売買損益相当額)	(△41,544,648,429)
分配準備積立金	76,135,787,766
繰越損益金	0

## 2 《トヨタグループ株式ファンドF(適格機関投資家専用私募)》

第10期 (決算日:2013年11月13日) 計算期間:2012年11月14日~2013年11月13日



### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	58円 (49) (3) (6)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	1 (1)
(c) 保管費用等	1
合 計	60

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 売買委託手数料および保管費用等は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

### ■組入資産明細表

#### ● 親投資信託残高

(2013年11月13日現在)

種 類	期 首 (前 期 末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
トヨタグループ株式マザーファンド	千口 526,219	千口 448,344	千円 1,058,182

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨てています。

#### ● トヨタグループ株式マザーファンド組入上位10銘柄(2013年11月13日現在)

銘柄名	業種	比率
1 トヨタ自動車	輸送用機器	49.2%
2 デンソー	輸送用機器	19.1%
3 豊田自動織機	輸送用機器	6.3%
4 アイシン精機	輸送用機器	5.1%
5 豊田通商	卸売業	4.0%
6 日野自動車	輸送用機器	3.6%
7 ダイハツ工業	輸送用機器	3.5%
8 ジェイテクト	機械	2.0%
9 豊田合成	輸送用機器	1.4%
10 小糸製作所	電気機器	1.3%

\*比率は純資産総額を100%として計算した値です。

\*比率はマザーファンドでの比率です。



## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2013年11月13日) 現在

項目	当期末
(A) 資産	1,060,598,408円
コール・ローン等	2,416,063
トヨタグループ株式マザーファンド(詳細額)	1,058,182,344
未収利息	1
(B) 負債	2,038,594
未払信託報酬	2,010,730
その他未払費用	27,864
(C) 純資産総額(A-B)	1,058,559,814
元本	593,960,447
次期繰越損益金	464,599,367
(D) 受益権総口数	593,960,447口
1万口当たり基準価額(C/D)	17,822円

- (注1) 当期における期首元本額 693,960,447 円、期中追加設定元本額 0 円、期中一部解約元本額 100,000,000 円です。
- (注2) 当期末における未払信託報酬(消費税等相当額を含む)の内訳は、委託者報酬 1,787,306 円、受託者報酬 223,424 円です。
- (注3) 当期末における受益権の総数は 593,960,447 口です。
- (注4) 当期末における 1 万口当たりの純資産の額は 17,822 円です。

## ■損益の状況

(自 2012年11月14日 至 2013年11月13日)

項目	当期
(A) 配当等収益	133円
受取利息	133
(B) 有価証券売買損益	525,646,658
売買益	624,568,772
売買損	△98,922,114
(C) 信託報酬等	△3,777,266
(D) 当期損益金(A+B+C)	521,869,525
(E) 前期繰越損益金	△374,141,403
(F) 追加信託差損益金 (配当等相当額)	316,871,245 (243,667,922)
(売買損益相当額)	(73,203,323)
(G) 計(D+E+F)	464,599,367
次期繰越損益金(G)	464,599,367
追加信託差損益金	316,871,245
(配当等相当額)	(243,667,922)
(売買損益相当額)	(73,203,323)
分配準備積立金	147,728,122

- (注1) (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) (F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 当期における信託報酬(消費税等相当額を含む)の内訳は、委託者報酬 3,311,661 円、受託者報酬 413,976 円です。
- (注5) 当期末における、費用控除後の配当等収益(20,853,960 円)、費用控除後、繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(3,853,826 円)、信託約款に規定する収益調整金(316,871,245 円)および分配準備積立金(123,020,336 円)より分配可能額は464,599,367円(1万口当たり7,822 円)ですが、分配は行っておりません。

### 3 《社会貢献ファンド(適格機関投資家専用)》

第9期 (決算日:2013年9月20日) 計算期間:2012年9月21日~2013年9月20日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

#### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	92円 (81) (2) (9)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	12 (12)
(c) 保 管 費 用 等	1
合 計	105

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(項目ごとに円未満は四捨五入しています。)

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率  
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数  
 (c) 保管費用等 = 期中の保管費用等/期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

#### ■組入資産の明細

##### ●親投資信託残高

(2013年9月20日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO 社会貢献マザーファンド	千口 1,551,998	千口 1,190,436	千円 1,717,205

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は、4,145,223千口です。

##### ●ALAMCO 社会貢献マザーファンド組入上位10銘柄(2013年9月20日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	トヨタ自動車	4.7%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	4.7%
3	本田技研工業	4.5%
4	オムロン	3.9%
5	みずほフィナンシャルグループ	3.8%
6	オークマ	3.7%
7	堀場製作所	3.7%
8	良品計画	3.4%
9	小松製作所	3.4%
10	エフ・シー・シー	3.3%

(注)組入比率はマザーファンドの純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2013年9月20日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	1,743,376,308円
コール・ローン等	26,171,108
ALAMCO社会貢献マザーファンド(評価額)	1,717,205,179
未 収 利 息	21
(B) 負 債	8,223,672
未 払 信 託 報 酬	8,172,657
そ の 他 未 払 費 用	51,015
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	1,735,152,636
元 本	1,301,542,949
次 期 繰 越 損 益 金	433,609,687
(D) 受 益 権 総 口 数	1,301,542,949口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C/D)	13,332円

(注1) 期首元本額は1,671,542,949 円、期中追加設定元本額は一円、期中一部解約元本額は370,000,000円です。

■損益の状況

当期 (自 2012 年 9 月 21 日 至 2013 年 9 月 20 日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	4,468
受取利息	4,468
(B) 有価証券売買損益	636,482,847
売買益	778,817,997
売買損	△142,335,150
(C) 信託報酬等	△14,984,574
(D) 当期損益金 (A+B+C)	621,502,741
(E) 前期繰越損益金	△421,064,730
(F) 追加信託差損益金	233,171,676
(配当等相当額)	(138,743,534)
(売買損益相当額)	(94,428,142)
(G) 計 (D+E+F)	433,609,687
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金 (G+H)	433,609,687
追加信託差損益金	233,171,676
(配当等相当額)	(138,743,534)
(売買損益相当額)	(94,428,142)
分配準備積立金	200,438,011

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(26,538,968円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益(59,848,639円)、信託約款に規定する収益調整金(233,171,676円)および分配準備積立金(114,050,404円)より分配可能額は433,609,687円(10,000 口当たり3,331 円)ですが、当期は分配を行いませんでした。

#### 4 《TMA長期投資ファンド(適格機関投資家限定)》

第7期 (決算日:2014年5月15日) 計算期間:2013年5月16日~2014年5月15日

 東京海上アセットマネジメント

##### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	65円 (55) (4) (6)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	9 (9)
(c) 有価証券取引税 ( 株式 )	2 (2)
(d) 保 管 費 用 等	2
合 計	78

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率  
消費税は報告日の税率を採用しています。

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、  
(d) 保管費用等は期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。

(注3) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

##### ■組入資産の明細 (2014年5月15日現在)

###### ●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
東京海上長期投資マザーファンド	千口 2,307,077	千口 2,131,828	千円 2,969,636

###### ●東京海上長期投資マザーファンド株式組入上位10銘柄 (2014年5月15日現在)

	銘 柄 名	国 名	評価額 (邦貨換算金額)	組入比率
			千円	%
1	キーエンス	日 本	115,860	3.9
2	NOVOZYMES A/S-B SHARES	デンマーク	109,343	3.7
3	リンナイ	日 本	108,960	3.7
4	エア・ウォーター	日 本	103,530	3.5
5	ミスミグループ本社	日 本	102,800	3.5
6	シマノ	日 本	101,800	3.4
7	SMC	日 本	98,980	3.3
8	NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	98,560	3.3
9	NESTLE SA-REGISTERED	ス イ ス	96,369	3.2
10	BG GROUP PLC	イ ギ リ ス	96,245	3.2

(注)組入比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する評価額の比率です。

###### 株式 国別構成比率

資産	国名	構成比率
株式		%
	日本	59.0
	アメリカ	9.9
	デンマーク	7.0
	イギリス	5.4
	スイス	3.2
	ユーロ(フランス)	2.8
	ユーロ(ドイツ)	2.3
香港	2.1	

(注)構成比率は、実質的に運用を行っている親投資信託の純資産総額に対する比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	当期末 (2014年5月15日現在)
(A) 資 産	2,976,942,329円
東京海上長期投資マザーファンド(評価額)	2,969,636,881
未 収 入 金	7,305,448
(B) 負 債	7,305,448
未 払 信 託 報 酬	7,154,897
そ の 他 未 払 費 用	150,551
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,969,636,881
元 本	2,202,045,267
次 期 繰 越 損 益 金	767,591,614
(D) 受 益 権 総 口 数	2,202,045,267口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	13,486円

(注1)当ファンドの期首元本額は2,371,342,318円、期中追加設定元本額は231,228,263円、期中一部解約元本額は400,525,314円です。  
(注2)当期末の1口当たり純資産額は1,3486円です。

■損益の状況

項 目	当 期 自 2013年5月16日 至 2014年5月15日
	円
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	286,283,564
売 買 益	312,287,708
売 買 損	△26,004,144
(B) 信 託 報 酬 等	△14,289,222
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	271,994,342
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	765,590,178
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	△269,992,906
( 配 当 等 相 当 額 )	(179,383,645)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△449,376,551)
(F) 計 ( C + D + E )	767,591,614
次 期 繰 越 損 益 金 ( F )	767,591,614
追 加 信 託 差 損 益 金	△269,992,906
( 配 当 等 相 当 額 )	(179,529,266)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△449,522,172)
分 配 準 備 積 立 金	1,037,584,520

(注1) (A)有価証券売買損益は、期末の評価換えによるものを含みます。  
(注2) (B)信託報酬等は、消費税等相当額を含めて表示しています。  
(注3) (E)追加信託差損益金は、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分です。  
(注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(33,294,414円)、費用控除後の有価証券等損益額(238,699,928円)、信託約款に規定する収益調整金(179,529,266円)および分配準備積立金(765,590,178円)より分配対象収益は1,217,113,786円(1万口当たり5,527円)でしたが、当期に分配した金額はありません。

## 5 《ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第6期(決算日:2013年12月25日) 計算期間:2012年12月26日~2013年12月25日

### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細



項 目	当 期
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託銀行)	137円 (82) (41) (14)
(b) 売買委託手数料 (株式)	14 (14)
(c) 有価証券取引税 (株式)	4 (4)
(d) 保 管 費 用 等	11
合 計	166

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 有価証券取引税、(d) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

### ■組入資産の明細(2013年12月25日現在)

#### ●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド	千口 2,369,268	千口 2,456,797	千円 3,938,492

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

#### ●ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド組入上位10銘柄(2013年12月25日現在)

順位	銘柄名	国名	主たる事業	比率
1	INDITEX	スペイン	衣料品販売	6.6%
2	L'OREAL	フランス	化粧品、香水等	5.9%
3	LINDE AG	ドイツ	産業用ガス	4.9%
4	CAPITA GROUP PLC	イギリス	人材サービス	4.6%
5	EXPERIAN PLC	イギリス	クレジットマーケティングサービス	3.8%
6	ESSILOR INTERNATIONAL	フランス	レンズ製造	3.7%
7	LINDT & SPRUENGLI	スイス	チョコレート製造	3.4%
8	ROCHE HOLDING AG	スイス	製薬会社	3.3%
9	SANOFI AVENTIS	フランス	製薬会社	3.3%
10	COLOPLAST	デンマーク	ヘルスケア製品	3.1%

※国および主たる事業の区分は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2012年12月25日現在）	当期末 （2013年12月25日現在）
(A) 資 産	2,590,110,734円	3,973,239,033円
コール・ローン等	12,346,821	19,746,727
ニッポンコムジェスト・ヨーロッパマザーファンド(評価額)	2,577,763,897	3,938,492,293
未 収 入 金	—	14,999,998
未 収 利 息	16	15
(B) 負 債	11,916,011	34,214,944
未 払 解 約 金	—	14,999,998
未 払 信 託 報 酬	11,653,511	18,952,446
その他未払費用	262,500	262,500
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	2,578,194,723	3,939,024,089
元 本	2,483,184,621	2,601,248,395
次 期 繰 越 損 益 金	95,010,102	1,337,775,694
(D) 受 益 権 総 口 数	2,483,184,621口	2,601,248,395口
1 万 口 当 たり 基 準 価 額 (C/D)	10,383円	15,143円

(注) 当ファンドの期首元本額は2,483,184,621円、期中追加設定元本額は195,660,561円、期中一部解約元本額は77,596,787円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1.5143円です。

■損益の状況

項 目	前期（2011年12月27日～2012年12月25日） 当期（2012年12月26日～2013年12月25日）	
	前 期	当 期
(A) 配当等収益	16,412 円	2,196 円
受取利息	2,184	2,196
その他収益金	14,228	—
(B) 有価証券売買損益	808,114,907	1,213,052,557
売買益	819,611,312	1,235,918,382
売買損	△11,496,405	△22,865,825
(C) 信託報酬等	△22,470,672	△35,591,226
(D) 当期損益金 (A + B + C)	785,660,647	1,177,463,527
(E) 前期繰越損益金	△78,553,108	685,980,349
(F) 追加信託差損益金	△612,097,437	△525,668,182
(配当等相当額)	(35,101,665)	(91,712,692)
(売買損益相当額)	(△647,199,102)	(△617,380,874)
(G) 合計 (D + E + F)	95,010,102	1,337,775,694
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金 (G + H)	95,010,102	1,337,775,694
追加信託差損益金	△612,097,437	△525,668,182
(配当等相当額)	(35,288,231)	(91,977,021)
(売買損益相当額)	(△647,385,668)	(△617,645,203)
分配準備積立金	707,107,539	1,863,443,876

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(48,108,058円)、費用控除後の有価証券等損益額(1,129,355,469円)、信託約款に規定する収益調整金(91,977,021円)および分配準備積立金(685,980,349円)より分配対象収益は1,955,420,897円(10,000口当たり7,517円)ですが、当期に分配した金額はありません。

6 《ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA(適格機関投資家限定)》

第6期(決算日:2013年12月25日) 計算期間:2012年12月26日~2013年12月25日



■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	118円 (71) (35) (12)
(b) 売買委託手数料 ( 株式 )	17 (17)
(c) 有価証券取引税 ( 株式 )	3 (3)
(d) 保 管 費 用 等	26
合 計	164

(注)期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a)信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b)売買委託手数料、(c)有価証券取引税、(d)保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注)各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注)売買委託手数料、有価証券取引税および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

■組入資産の明細(2013年12月25日現在)

●親投資信託残高

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット マザーファンド	千口 3,000,391	千口 3,028,977	千円 4,148,789

(注)口数・評価額の単位未満は切り捨て。

●ニッポンコムジェスト・エマージングマーケットマザーファンド組入上位10銘柄(2013年12月25日現在)

順位	銘柄名	国名	主たる事業	比率
1	TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR	台湾	半導体製造	4.9%
2	CHINA MOBILE LTD	中国	電話通信サービス	4.5%
3	CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	生命保険	4.1%
4	BAIDU INC ADR	中国	インターネット検索エンジン	3.8%
5	YANDEX NV-A	ロシア	インターネット検索エンジン	3.3%
6	PING AN INSURANCE GROUP CO-H	中国	生命保険等	3.0%
7	TENARIS SA-ADR	アルゼンチン	シームレスパイプ製造	3.0%
8	CIELO SA	ブラジル	クレジットカード決済サービス	2.9%
9	NATURA COSMETICOS SA	ブラジル	化粧品製造販売	2.9%
10	SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	韓国	生命保険	2.8%

※国の別は、コムジェスト・エスエー社の判断に基づいて分類しております。

※比率は純資産総額に対する評価額の割合



■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首 (前期末) (2012年12月25日現在)	当期末 (2013年12月25日現在)
(A) 資 産	3,032,940,108円	4,179,355,286円
コー ル・ロ ー ン 等	15,746,006	20,565,347
ニッポンコムジェスト・エマーゾン・グマーマーケット・ファンド(評価額)	3,017,194,081	4,148,789,924
未 収 入 金	—	9,999,999
未 収 利 息	21	16
(B) 負 債	15,239,159	29,989,573
未 払 解 約 金	—	9,999,999
未 払 信 託 報 酬	14,976,659	19,727,074
そ の 他 未 払 費 用	262,500	262,500
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	3,017,700,949	4,149,365,713
元 本	3,142,417,602	3,204,843,469
次 期 繰 越 損 益 金	△124,716,653	944,522,244
(D) 受 益 権 総 口 数	3,142,417,602口	3,204,843,469口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	9,603円	12,947円

(注) 当ファンドの期首元本額は3,142,417,602円、期中追加設定元本額は211,144,727円、期中一部解約元本額は148,718,860円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1.2947円です

■損益の状況

項 目	前期 (2011年12月27日～2012年12月25日)	当期 (2012年12月26日～2013年12月25日)
	前期	当期
(A) 配当等収益	3,000 円	2,391 円
受取利息	3,000	2,391
(B) 有価証券売買損益	590,155,440	1,075,674,824
売買益	623,282,186	1,104,151,901
売買損	△33,126,746	△28,477,077
(C) 信託報酬等	△30,124,249	△38,443,473
(D) 当期損益金 ( A + B + C )	560,034,191	1,037,233,742
(E) 前期繰越損益金	△306,753,123	241,706,457
(F) 追加信託差損益金	△377,997,721	△334,417,955
(配当等相当額)	(256,344,354)	(281,387,008)
(売買損益相当額)	(△634,342,075)	(△615,804,963)
(G) 合計 ( D + E + F )	△124,716,653	944,522,244
(H) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金 ( G + H )	△124,716,653	944,522,244
追加信託差損益金	△377,997,721	△334,417,955
(配当等相当額)	(256,678,849)	(281,803,463)
(売買損益相当額)	(△634,676,570)	(△616,221,418)
分配準備積立金	299,074,060	1,278,940,199
繰越損益金	△45,792,992	—

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(69,481,438円)、費用控除後の有価証券等損益額(924,051,991円)、信託約款に規定する収益調整金(281,803,463円)および分配準備積立金(285,406,770円)より分配対象収益は1,560,743,662円(10,000口当たり4,869円)ですが、当期に分配した金額はありません。

7 《ALAMCO ハリス グローバル バリュース株ファンド 2007(適格機関投資家専用)》

第7期(決算日:2014年3月10日) 計算期間:2013年3月12日~2014年3月10日

朝日ライフ アセットマネジメント株式会社

■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期
(a) 信託報酬	159円
( 投信会社 )	(122)
( 販売会社 )	(27)
( 受託銀行 )	(10)
(b) 売買委託手数料	6
( 株 式 )	(6)
(c) 有価証券取引税	5
( 株 式 )	(5)
(d) 保 管 費 用 等	6
合 計	176

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含みます。)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です(項目ごとに円未満は四捨五入しています)。

- (a) 信託報酬 = 期中の平均基準価額×信託報酬率  
 (b) 売買委託手数料 = 期中の売買委託手数料/期中の平均受益権口数  
 (c) 有価証券取引税 = 期中の有価証券取引税/期中の平均受益権口数  
 (d) 保管費用等 = 期中の保管費用等/期中の平均受益権口数

なお、売買委託手数料、有価証券取引税 および保管費用等は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

■組入資産の明細

●親投資信託残高

(2014年3月10日現在)

種 類	期首(前期末)	当 期 末	
	口数	口数	評価額
ALAMCO ハリス グローバル バリュース株マザーファンド	千口 3,872,688	千口 1,576,520	千円 2,267,509

(注) 親投資信託の当期末の受益権総口数は14,206,144千口です。

●ALAMCO ハリスグローバルバリュース株マザーファンド組入上位10銘柄(2014年3月10日現在)

順位	銘柄名	組入比率
1	JULIUS BAER GROUP LTD	4.4%
2	CREDIT SUISSE GROUP AG-REG	4.4%
3	CNH INDUSTRIAL NV	3.9%
4	ALLIANZ SE	3.8%
5	GENERAL MOTORS CO	3.7%
6	KERING	3.7%
7	WELLS FARGO & CO	3.7%
8	APPLIED MATERIALS	3.6%
9	TESCO	3.6%
10	HOLCIM LTD REG	3.6%

(注) 組入比率は現物株式ポートフォリオに占める比率です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

(2014年3月10日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	2,560,502,128円
コー ル ・ ロ ー ン 産 等	292,992,291
A L A M C O ハ リ ス グ ロ ー バ ル バ リ ュ ー 株 マ ザ ー フ ェ ン ド ( 評 価 額 )	2,267,509,597
未 収 利 息	240
(B) 負 債	285,663,660
未 払 収 益 分 配 金	270,697,703
未 払 信 託 報 酬	14,908,671
そ の 他 未 払 費 用	57,286
(C) 純 資 産 総 額 ( A - B )	2,274,838,468
元 本	1,933,555,022
次 期 繰 越 損 益 本 金	341,283,446
(D) 受 益 権 総 口 数	1,933,555,022口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( C / D )	11,765円

(注) 期首元本額は4,161,015,479円、期中追加設定元本額は774,641,014円、期中一部解約元本額は3,002,101,471円です。

■損益の状況

当期 (自2013年3月12日至2014年3月10日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	10,193
受取利息	10,193
(B) 有価証券売買損益	494,535,237
売買益	782,878,511
売買損	△288,343,274
(C) 信託報酬等	△30,804,208
(D) 当期損益金 (A+B+C)	463,741,222
(E) 前期繰越損益金	280,475,450
(F) 追加信託差損益金	△132,235,523
(配当等相当額)	(240,776,351)
(売買損益相当額)	(△373,011,874)
(G) 計 (D+E+F)	611,981,149
(H) 収益分配金	△270,697,703
次期繰越損益金 (G+H)	341,283,446
追加信託差損益金	△132,235,523
(配当等相当額)	(241,382,689)
(売買損益相当額)	(△373,618,212)
分配準備積立金	473,518,969

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注4) 投資信託財産の運用の指図に係る権限の全部又は一部を委託する場合における当該委託に要する費用は14,471,690円となります。

(注5) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(33,363,413円)、費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額(430,377,809円)、信託約款に規定する収益調整金(241,382,689円)および分配準備積立金(280,475,450円)より分配可能額は985,599,361円(10,000口当たり5,097円)であり、うち270,697,703円(10,000口当たり1,400円)を分配金額としています。

## 8 《コモンズ30ファンド(適格機関投資家用)》

第5期(決算日:2014年1月20日) 計算期間:2013年1月19日~2014年1月20日



### ■1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項	目	当 期
(a)	信託報酬 ( 投信会社 ) ( 販売会社 ) ( 受託銀行 )	86円 (79) (1) (6)
(b)	売買委託手数料 ( 株式 )	97 (97)
(c)	保 管 費 用 等	2
	合 計	185

(注) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、下記の簡便法により算出した結果です。

(a) 信託報酬=期中の平均基準価額×信託報酬率

(b) 売買委託手数料、(c) 保管費用等は、期中の各金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。

(注) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料および保管費用等は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

### ■組入資産の明細

#### ●親投資信託残高

(2014年1月20日現在)

種類	期 首	当 期 末	
	口数	口数	評価額
コモンズ・サーティー・マザーファンド	千口 815,096	千口 816,396	千円 1,720,963

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

#### ●コモンズ・サーティー・マザーファンド組入上位10銘柄(2014年1月20日現在)

銘柄名	業種	比率
1 カカクコム	サービス業	3.7%
2 本田技研工業	輸送用機器	3.6%
3 楽天	サービス業	3.6%
4 三菱商事	卸売業	3.3%
5 味の素	食料品	3.2%
6 丸紅	卸売業	3.2%
7 堀場製作所	電気機器	3.1%
8 旭化成	化学	3.0%
9 久光製薬	医薬品	3.0%
10 ローソン	小売業	2.9%

(注) 組入比率は、親投資信託の純資産総額に対する比率。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

項 目	期首（前期末） （2013年1月18日現在）		当期末 （2014年1月20日現在）	
	(A) 資 産 コモンス・サテライト・マザーファンド(評価額)	1,277,256,572円	1,277,256,572	1,720,963,413円
(B) 負 債 未払信託報酬 その他未払費用	1,871,935 1,766,935 105,000	1,871,935 1,766,935 105,000	3,186,558 3,081,558 105,000	3,186,558 3,081,558 105,000
(C) 純資産総額(A-B)	1,275,384,637	1,275,384,637	1,717,776,855	1,717,776,855
元 本 次期繰越損益金	1,138,205,909 137,178,728	1,138,205,909 137,178,728	1,147,165,199 570,611,656	1,147,165,199 570,611,656
(D) 受益権総口数 1万口当たり基準価額(C/D)	1,138,205,909口 11,205円	1,138,205,909口 11,205円	1,147,165,199口 14,974円	1,147,165,199口 14,974円

(注) 当ファンドの期首元本額は1,138,205,909円、期中追加設定元本額は245,366,958円、期中一部解約元本額は236,407,668円です。

(注) また、1口当たり純資産額は1,4974円です。

■損益の状況

項 目	前期（2012年 1月19日～2013年1月18日） 当期（2013年 1月19日～2014年1月20日）	
	前 期	当 期
(A) 有価証券売買損益 売買益 売買損	276,367,718 円 276,400,968 △33,250	389,886,825 円 451,738,518 △61,851,693
(B) 信託報酬等	△6,729,329	△11,478,447
(C) 当期損益金(A+B)	269,638,389	378,408,378
(D) 前期繰越損益金	△89,253,732	149,563,254
(E) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額)	△43,205,929 (118,606,616) (△161,812,545)	42,640,024 (151,890,074) (△109,250,050)
(F) 計(C+D+E)	137,178,728	570,611,656
(G) 収益分配金	0	0
次期繰越損益金(F+G) 追加信託差損益金 (配当等相当額) (売買損益相当額) 分配準備積立金	137,178,728 △43,205,929 (118,714,876) (△161,920,805) 180,384,657	570,611,656 42,640,024 (151,956,238) (△109,316,214) 527,971,632

(注) 損益の状況の中で(A)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(B)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示していません。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(22,621,278円)、費用控除後の有価証券等損益額(355,787,100円)、信託約款に規定する収益調整金(151,956,238円)および分配準備積立金(149,563,254円)より分配対象収益は679,927,870円(10,000口当たり5,927円)ですが、当期に分配した金額はありません。

9 《キャピタル・インターナショナル・USグロースアンドインカム・ファンド クラスX (ルクセンブルグ籍円建外国投資法人)》

(決算日:2013年12月31日) 計算期間:2013年1月1日~2013年12月31日

※下記情報は、Capital International Fund- Audited Annual Report 2013- For the year ended 31 December 2013 より

“Capital International US Growth and Income” の部を転記しております。また表示は基準通貨 (Base Currency) のユーロ (EUR) 建です。

■構成比率

As at 31 December 2013	%
<b>Shares</b>	
United States	83.43
United Kingdom	6.40
Italy	1.20
Germany	0.49
Japan	0.43
<b>Total shares</b>	<b>91.95</b>
Total mutual fund	6.84
Total corporate bond	0.14
Cash at bank and other net assets	1.07
<b>Total</b>	<b>100.00</b>

■セクター別構成比率

As at 31 December 2013	%
Health care	20.9
Information technology	16.5
Energy	16.2
Consumer discretionary	9.8
Consumer staples	8.8
Telecommunication services	7.0
Industrials	3.8
Financials	3.8
Materials	3.5
Utilities	1.8
Other	6.8
Cash and equivalents	1.1

■資産、負債、純資産の状況

As at 31 December 2013 (continued)	
<b>Assets</b>	
Investments at market value	247,213,605
Cash at bank	4,484,267
Dividend and interest receivable (net of withholding taxes)	294,010
Receivable for investments sold	200,349
Receivable for fund shares subscribed	436,970
Prepaid expenses and other receivables	55,921
Unrealised gain on hedged share class forward foreign exchange contracts	34,732
<b>Total assets</b>	<b>252,719,854</b>
<b>Liabilities</b>	
Payable for investments purchased	2,319,957
Payable for fund shares redeemed	183,680
Accrued expenses and other payables	143,865
Management fee payable	182,857
<b>Total liabilities</b>	<b>2,830,359</b>
<b>Total net assets</b>	<b>249,889,495</b>
<b>Investment securities at cost</b>	<b>195,745,503</b>

■ 損益の状況

For the year ended 31 December 2013 (continued)

<b>Income</b>	
Dividend income (net of withholding taxes)	3,665,951
Interest on bonds and convertible bonds (net of withholding taxes)	21,958
Interest on bank accounts	10
	<b>3,687,919</b>
<b>Expenses</b>	
Management fees	1,872,558
Administrative Manager services	192,877
Professional services	149,589
Taxe d'abonnement	84,158
Custody	30,946
Other	33,325
Printing and publishing	29,684
	<b>2,393,137</b>
Reimbursement of expenses	35,134
<b>Net investment income/(loss) (a)</b>	<b>1,329,916</b>
Net realised gain/(loss) on:	
Sale of investments	12,229,350
Foreign currency transactions	(340,406)
<b>Net realised profit/(loss) for the year (b)</b>	<b>11,888,944</b>
Net change in unrealised appreciation/(depreciation) on:	
Investments	29,162,092
Foreign currency transactions	49,516
<b>Net change in unrealised appreciation/(depreciation) for the year (c)</b>	<b>29,211,608</b>
<b>Result of operations for the year (a+b+c)</b>	<b>42,430,468</b>
<b>Dividend distribution</b>	<b>(987,730)</b>
Net subscriptions/(redemptions) of shares for the year	58,653,669
Total net assets at the beginning of the year	149,793,088
<b>Total net assets at the end of the year</b>	<b>249,889,495</b>